

第6回横須賀市観光振興推進委員会 会議要旨

日 時：平成28年2月3日（水）10時30分～11時55分

場 所：横須賀市役所本館1号館3階 会議室A

1. 「基本戦略」について

- ・先日開催された「横須賀カレーハッカソン」で提案のあった、スマートフォンアプリを利用した観光情報の提供について、とても良い情報発信の方法だと思ったので、ハッカソンの開催とともに、スマートフォンを利用した施策を取り入れてほしい。
- ・インバウンドの推進の部分で営業時間の延長や免税対応など、観光客の受入態勢の整備や事業者への意識付けについても、取り組んでいくべきだと思う。来訪者が多くても、経済効果がなければ意味がないので、来訪者数が経済効果に結びつく取り組みを進めていかなければならない。
- ・横須賀製鉄所創設150周年でパレードなどを実施したが、日曜日に店舗が閉まっている状況だった。数万人規模で人が集まるにも関わらず定休日という現状もあるので、事業者も観光立市に向けて一体となって考えていかなければならない。
- ・商店街でもイベントを開催するが、会員の為になっているかと言ったらそうでもない。イベントの開催による来訪者を、各店舗の売上に結び付ける戦略をとっていかなければならない。
- ・基本戦略3の「団体観光客受入のための施設整備」について、団体観光客に特化した記載になっているので「観光客受入のための施設整備」とし、具体例として団体観光客や個人観光客向けの施策を記載したほうが良いと思う。基本戦略中の記載の順番についても、一番大事なところは最初に記載するのか、最後に記載するのかなど、意識したほうがよい。
- ・戦略の具体的な事業に「重点施策」や「早期に着手する施策」の記載があると、分かりやすくなる。

- ・基本戦略における推進主体の記載方法について、中心になって進める主体が黒丸で、関連するところが白丸で記載する方法もある。
- ・戦略の具体的な事業について、目玉になる事業や横須賀ならではの事業も必要だが、それらが観光客数に効いていくのか、消費単価に効いていくかの視点で整理していくと、確実に成果が出るようになると思う。
推進主体の記載方法については、黒丸と白丸で強弱をつけるのは良いと思う。
「誰かがやるだろう」となるのが一番良くない。

2. 数値目標について

- ・数値目標については、観光産業の持つ経済波及や雇用面での影響を記載したほうが、分かりやすい。
製造業が中心である横須賀に新しい産業の柱として観光を入れていくにあたっては、事業者や市民の理解が前提になってくるので、段階を踏んで目標値を定める方法もある。
- ・市民の方々も消費者だが、減少することは明らかで、その部分を来訪客で補うという思いが根底にある。数値目標は出来るだけ分かりやすい記載の方法を検討していきたい。
- ・数値目標の立て方について、行政として実施できる目標を積み上げていくのかまず目標値を立て、それに向けて戦略を出していくのでは大きく違う。
観光も地域間の競争があることを認識した上で、数値目標を検討したほうがよい。

3. 計画全体について

- ・サブタイトルで「観光が産業の柱となる」と宣言することはとても意義がある。また、産業の柱にすることについても説明されており、具体的でとても良い。ただ、産業の柱というからには数値目標は必要だと思う。
- ・ガイド協会を観光関係団体とするのであれば、推進主体の1つである旨を具体的に記載すべきである。
- ・サブタイトルについては「観光立市を目指す」とされており、内部的にも外部的にもインパクトがあり分かりやすい。また、観光立市を目指す理由やどのように経済発展していくのかについても、第2章で触れられており良いと思う。数値目標について、観光は単独で見ると大きな経済効果はなく、例えば雇用の面に相乗効果が及ぶことなどにも触れ、しっかりとした目標を立てることが重要。
- ・観光立市に向けた基本戦略の実施主体が明確になり良かった。数値目標はモチベーションを高める要素だと思うので、しっかりとした数値を置くべきだと思う。
- ・進行管理について、観光振興推進委員会の施策の評価に加えて、事業ごとの効果の検証も必要だと思う。委員会で検証した上で、評価・見直しをしていくということを記載した方が良いと感じた。